

かがやき通信

令和元年9月9日
海田南小学校
NO.2

かがやき教室の紹介



今年度もかがやき教室は、楽しく学習しながら、力がつく教室を目指してスタートしました。一人一人みんなすてきな力を持っています。しかし、苦手なことが先に目に入り、自分のすてきなところに気づかないまま過ごしている子どもたちが多くいます。かがやき教室では、一人一人の困難さに向き合いつつ、まだ気づいていないすてきな所に気づき、それを伸ばしていくことで、自信をつけていけるようサポートしています。

かがやきに来ることが楽しみになるように

まずは、かがやき教室に来ることが楽しい教室になるように、体づくりで楽しく授業をスタートしています。「落ちたらワニに食べられちゃうよ～」と声をかけながら、マット、バランスボード、トランポリン、平均台を渡ります。途中プレゼントの箱を1つだけ取って、さわやかな返事とともにゴール！一人一人の笑顔が光ります。



学習のスケジュール

体づくりの後には、発声練習、ビジョントレーニングを行った後、一人一人の課題に応じて新聞記事を使いながら、ソーシャルスキルや学習の仕方につながるトレーニングを行っています。最後の学力補充の時間では、漢字の学習は、脳科学を取り入れて行ったり、楽しいゲームの中に算数の学習を仕組んだりしながら、「知らないうちに学んでいる。」そんな授業をめざして学習内容を工夫しています。

かがやき教室に来室する子どもたちをつなげるために

子どもは集団の中で成長すると思っています。かがやき教室に来る子どもたちをつないでいくために、体づくりでもらえるプレゼントの中に、ポイントを仕組んでおきました。毎回「このポイント何に使うんですか？」と尋ねてくる子どもたちに、「さて何に使おうかねえ。何か面白いことに使ってほしいんだけどねえ。」としばらく投げかけ続けました。するとついに！そのポイントを使ってみんなが楽しめる活動を考えてくれる人が出てきました。

そのポイントを的当てゲームに活用するというアイデアです。ルールの説明が直接できないので、「紙に書いて知らせるといい！」「本当に楽しんでくれたかどうか知りたいからアンケートを作りたい！」「アンケートに協力してくれた人にお礼の手紙を書きたい！」「みんなでつながるこのコーナーに名前をつけたい！」と次々アイデアが出てきて、「みんなで作ろう 楽しい時間を！」と名前まで付けてくれました。さらに、実際的に当てを試した人は、「楽しいから何度もしたくなる」「何回もできたらいいのにな。」「的をもっとたくさん作ってポイントもかけ算でできるようにしてみたらどう？」など、同じ時間を共有していない子どもたちが、次々とつながりはじめました。みんなが楽しく過ごしてほしいと願う純粋な気持ちが、子どもたちを生き生きとさせています。そしてあらゆる知識を総動員して活動を工夫して楽しんでいます。そんな子どもたちを見て、とても嬉しくて、子どもたちからたくさんのエネルギーをいただいています。

学習の紹介（一部）

さいころカーリング



からかさおぼけ（角度）



どっちの位でショー



漢字の学習



絵本の中から



何よりうれしいことは

今日の予定には、その日がんばったこと、良かったところをできるだけ詳しく書いています。がんばったことに、ご家庭でも声をかけていただきたいからです。一緒に誉めてくださったり、お返事を書いてくださったりする保護者の方もいらっしゃいます。「かがやき教室に通うことで自信がつき、教室でもたくさん発表できるようになったと、本人が話してくれました。」という声をいただいています。子どもたちが、自分に自信がついたと感じ、できるようになったことが増える教室でありたいと思います。